

---

**どうしても言いたかった、どうでもいいこと。**

うわの空

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

どうしても言いたかった、どうでもいいこと。

### 【コード】

N4555U

### 【作者名】

うわの空

### 【あらすじ】

桃太郎についての男女の会話。

「おかしいと思わない？」

「何が」

「桃太郎の話！！」

「あんなの作り話なんだから、おかしくて当たり前だろ」

「だけどもどうしても言いたいものよ！！桃太郎の冒頭、どんなのか言える？」

「むかーしむかし、あるところにおじいさんとおばあさんがいました。

ある日、おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました」

「…。」

「まだ言うの？」

「言って」

「…おばあさんが川で洗濯をしていると川上から、どんぶらこ〜どんぶらこ〜と大きな桃が流れてきました。『立派な桃じゃ！持って帰ったらおじいさんも喜ぶに違いない』。おばあさんはその大きな桃を、家へと持って帰りました」

「そう、そこ！！」

「なに？どこか変だった？」

「ね、『おばあさん』ってどういうイメージ？」

「え？そりゃ、白髪でしわだらけで、腰が曲がってて足腰弱くて…」

「でしょ！？」

「う、うん…」

「だけどここの童話のおばあさんは、でっかい桃を自力で持って帰るのよ?」

「まあそうだな…」

「赤ちゃんって、だいたい3キロくらいあるでしょう?」

「昔はどうだったのか知らないけど、そのくらいかな」

「それにでっかい桃も合わせたら、全部で何キロあると思う?」

「…まあ、重いだろうな」

「つまり」

「つまり?」

「この桃太郎に出てくるおばあさんは、マッチョだったということよ!」

「…。」

「…じゃなきゃつじつまが合わない」

「どうでもよくな?」

「だけどうしても言いたかったの!」ということと言い直して!初めから!」

むかーしむかし。あるところにおじいさんと、ムキムキマッチョなおばあさんがいました。

ある日、おじいさんは山へ芝刈りに、ムキムキマッチョなおばあさんは川へ洗濯に行きました。

マッチョなおばあさんが洗濯をしていると、どんぶらこ〜どんぶらこ〜と大きな桃が流れてきました。

「なんて大きな桃じゃ!持って帰ったらおじいさんも喜ぶに違いない!」

おばあさんは喜び勇んで桃に近づき、

「そいやあ!」

その筋力を活かして大きな桃を持ち上げ、持ち帰りました。

「…これで満足か」

「うん」

「それはよかった」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4555u/>

---

どうしても言いたかった、どうでもいいこと。

2011年10月9日02時22分発行